



日本一人口の多い村

読み 読谷村

人口 42,060人

(令和5年12月末)

96号

2023年12月
定例会

議会だより

第12回読谷村山スキー大会 チャンピオン大会 赤・白・団体座喜味優勝!!

★議会に一言★
いつも私たちのため
にがんばってくれて
ありがとうございます
す。

★
題字：喜屋武杏梨
(古堅南小学校3年生)



議会だよりの裏に喜屋武杏梨さんの裏記
が古堅南小学校とありますので正しくは古堅南
小学校でした。訂正しお詫言申し上げます。

主な内容

- ◎議決結果 2
- ◎意見書・決議 4
- ◎一般質問 6



10年ぶりの女性チャンピオン



座喜味初三冠

第 529 回読谷村議会臨時会付議事件一覧及び結果

議案番号	件 名	議決年月日	結 果
議案第47号	令和5年度読谷村一般会計補正予算(第4号)	令和5年 11月24日	原案可決
議案第48号	令和5年度読谷村国民健康保険特別会計補正 予算(第3号)	令和5年 11月24日	原案可決
議案第49号	令和5年度読谷村後期高齢者医療特別会計補 正予算(第2号)	令和5年 11月24日	原案可決
議案第50号	令和5年度読谷村水道事業会計補正予算(第 2号)	令和5年 11月24日	原案可決
議案第51号	読谷村一般職員の給与に関する条例の一部を 改正する条例	令和5年 11月24日	原案可決
議案第52号	読谷村特別職の給与等並びに旅費及び費用弁 償に関する条例の一部を改正する条例	令和5年 11月24日	原案可決
発議第3号	読谷村議会議員の議員報酬、費用弁償及び期 末手当に関する条例の一部を改正する条例	令和5年 11月24日	原案可決

第 530 回読谷村議会定例会付議事件一覧及び結果 令和5年12月12日~12月25日

議案番号	件 名	議決年月日	結 果
議案第53号	令和5年度読谷村一般会計補正予算(第5号)	令和5年 12月25日	原案可決
議案第54号	令和5年度読谷村国民健康保険特別会計補正 予算(第4号)	令和5年 12月25日	原案可決
議案第55号	令和5年度読谷村後期高齢者医療特別会計補 正予算(第3号)	令和5年 12月25日	原案可決
議案第56号	令和5年度読谷村下水道事業会計補正予算(第 3号)	令和5年 12月25日	原案可決
議案第57号	読谷村情報通信技術を活用した行政の推進に 関する条例	令和5年 12月25日	原案可決
議案第58号	読谷村印鑑条例の一部を改正する条例	令和5年 12月25日	原案可決
議案第59号	読谷村国民健康保険税条例の一部を改正する 条例	令和5年 12月25日	原案可決

③ 読谷村 議会だより

議案番号	件名	議決年月日	結果
議案第60号	読谷村営住宅設置及び管理条例の一部を改正する条例	令和5年 12月25日	原案可決
議案第61号	読谷村都市公園条例の一部を改正する条例	令和5年 12月25日	原案可決
議案第62号	令和5年度村道大木喜名線整備工事(1工区)請負契約の変更について	令和5年 12月25日	原案可決
議案第63号	物品供給かんしょ生産振興事業(トラクター一式)購入契約について	令和5年 12月25日	原案可決
議案第64号	指定管理者の指定(読谷村生き生き健康センター)について	令和5年 12月25日	原案可決
議案第65号	指定管理者の指定(読谷村健康増進センター)について	令和5年 12月25日	賛成少数で 否決
議案第66号	字の区域の変更(大木南土地区画整理事業地内)について	令和5年 12月25日	原案可決
議案第67号	字の区域及び名称の変更(大湾東土地区画整理事業地内)について	令和5年 12月25日	原案可決
議案第68号	横田屋18号線の村道認定について	令和5年 12月25日	原案可決
同意第15号	固定資産評価員の選任(安田慶知氏)について	令和5年 12月25日	同意
報告第22号	専決処分の報告(令和5年度泊城公園崖地対策工事請負契約の変更)について	令和5年 12月25日	報告
決議第5号	屋久島沖での米空軍CV22オスプレイ墜落事故に対する抗議決議	令和5年 12月12日	全会一致で 可決
意見書第7号	屋久島沖での米空軍CV22オスプレイ墜落事故に対する意見書	令和5年 12月12日	全会一致で 可決



意見書・抗議決議

第 530 回 12 月定例会（令和 5 年 12 月 12 日） 決議第 5 号・意見書第 7 号

◎ 屋久島沖での米空軍CV22オスプレイ 墜落事故に対する 抗議決議・意見書

全会一致で
可決!

読谷村議会は村民の生命、財産、安全と平穏な生活を守る立場から、米軍及び関係当局に厳重に抗議するとともに、下記事項について速やかに実現するよう強く要求する。

記

- 1 オスプレイの飛行を停止すること
- 2 墜落事故原因を徹底究明公表すること
- 3 日米地位協定の抜本的な改定を行うこと



件名	議決結果	議席	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
		氏名	與那覇 徳雄	仲 眞朝雄	與那覇 沙姫	城間 真弓	山内 政徳	上地 利枝子	平 良勝志	國 吉雅和	岸 本大二郎	神谷 嘉栄	江田 守恭	比嘉 幸雄	當 間 良史	松 田 昌邦	山城 正輝	伊 佐 眞武	大 城 友誼	長 濱 宗則	伊 波 篤	
決議第 5 号・意見書第 7 号 (オスプレイ墜落事故)	可決		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
議案第 65 号 (指定管理者の指定)	否決		×	○	×	×	○	○	○	○	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	※

※議長は採決に参加しない

第 530 回 12 月定例会（令和 5 年 12 月 25 日） 議案第 65 号

◎指定管理者の指定(読谷村健康増進センター)について

賛成少数で
否決!

賛否あり



與那覇徳雄 (反対)

応募資格要件は、県内に主たる事務所又は事業所を有していること。優先交渉権者は県外に住所を有する者で、主たる事務所又は事業所の住所は法人では本店で、社会通念上から解釈すると優先交渉権者は県内に主たる事務所又は事業所を有してないと思います。事業計画案は、約 12 万人見込んでいるが施設規模から安全監視及び利用に対する人員配置が危惧され、利用者の安全確保が第一に優先で無理に詰め込むと危険な状況を生む。



平良勝志 (賛成)

読谷村の公の施設における指定管理者の指定手続きに関する条例また地方自治法第 244 条 2 項・6 項の規定に基づき優先交渉権者は募集資格要件に合致しており決定プロセスに瑕疵は認められない。事業ノウハウも公募型プロポーザルにも合致している。村民に対する更なるサービス向上と村民の安定した雇用の促進を要望し賛成とする。



城間真弓 (反対)

今現在の利用者数が約 8 万人という中で、リンクワークスが指定管理を受けた場合は 12 万人を目指していくとの説明があった。利用者数を増やすことに重向きを置くことで、住民 1 人ひとりが利用できる時間の抑制や、サービスの低下が懸念される。また、指定期間は令和 6 年 4 月 1 日とあるが、課長の説明では 7 月開所とありその 3 ヶ月の間の運営期間も不明確である。地域に根ざした住民福祉の安心安全な健康増進を本当に担っていけるのか、判断できる材料に乏しい。



仲真朝雄 (賛成)

提案の優先交渉権者は、指定管理者募集要項、審査基準書、要求水準書を全て満たし「公募型プロポーザル方式」による競争的な手法で選定されており、指定管理料縮減、サービス向上のための安定した物的人的能力を有する。事業提案も意欲的で 5 年目の利用者数 12 万人は現実的な数字である。行政はモニタリングで運営を確認でき、利用者の安全確保は最大限に図られる。否決で村民の受けるべき利益が阻害されてはならず、よって賛成とするべきである。



與那覇沙姫 (反対)

指定管理者募集要項の応募資格要件に「沖縄県内に主たる事務所又は事業所を有している」とある。今回は登記簿を調べてみると、主たる事務所・事業所が沖縄県内にないためそもそも募集要項に該当しないと私は認識している。なぜ県内に主たる事務所・事業所と募集要項に明記したのか意味があるはず。それが自治の繁栄だとするならその意味を問い正していくべき。言葉の定義を正しく使わないと自治の乱れを起こすため反対する。



國吉雅和 (賛成)

選考委員会（副村長を含む 10 名の部課長）が選定したリンクワークス・沖縄ダイケン共同事業体の提案
 ・現在 5 年間で支払う 1 億 3 千万円の委託料は、2,400 万円になるので財政負担の大幅な軽減となる。
 また、村民の利用料金は据え置きである。
 ・定休日をなくし利用時間を拡大することは、約 2 割強の利用者自然増となる。また、周辺施設利用を含めた自主事業は村民サービスの質の更なる向上が期待される。
 審査した委員会報告書は否決の理由を明らかにしていない。



比謝川をそ生させる会



たいら かつし
平良 勝志

比謝川沿岸について伺う

問 比謝川沿岸を有効利用する考えは。

答 比謝川沿岸は手つかずの自然が残る貴重な河川となっていることから事前の状態を維持し保全を基盤としており具体的な利用方策はない。

読谷村ハザードマップについて伺う

問 大添の崖崩れ同様の危険箇所が比謝川沿岸にあるか

答 村内の急傾斜地崩壊箇所を確認したところ1箇所崖崩れを確認している。

部活動地域移行について伺う

問 沖縄県のホームページに部活動等の在り方に関する方針(ガイドライン)とあるがそれを受けて村としての見解は

答 休日の部活動の段階的な地域移行については県のガイドラインを参考に持続可能な運営体制を推進する。

各種スポーツ部活動環境について伺う

問 屋内、屋外スポーツや芸術文化系の部活動の活動時間は

答 小中学校における部活動時間は、屋内屋外問わず季節や終業時間でも異なりますが遅くても完全下校が18時30分で設定されている。

問 以前質問させていただいた部活動時間内の片付けの際に使用する外灯設置について進展しているか

答 部活動時間内に片付けの際に使用する外灯については、現状での練習プログラムを工夫していただくよう対応をお願いしている。

問 部活の時間は守っていますが、その時間内に外灯を点けて頂けないか

答 片付けの状況を改めて確認してどう対応するか考えていく。



サービスの質の更なる向上と、利用者負担増をさせず、公費負担の軽減を期待しての公募



くによし まさかず
國吉 雅和

学校給食費無償化の現況と財政問題について

答 完全無償化自治体は北部地区及び離島を含めた12市町村と嘉手納町、北谷町、宜野湾市の3市町村。また、一部助成自治体は北部地区及び離島を含めた8市町村と沖縄市、北中城村、中城村、浦添市、豊見城市の5市町村。学校給食完全無償化及び一部助成28自治体の71%は北部地区と離島の少子高齢化対策がうかがえる。

読谷村の予定する事業(財政需要)費は

答 古堅南小学校改築事業費は42億4千万円の4小学校で合計約170億円、(仮称)総合情報センター事業と屋内運動場(ドーム)及び周辺環境事業費は合計約71億円、比謝横断線と中央残波線北進事業費は合計約66億円、大木と大木南土地区画事業費は合計約40億円、瀬名波通信跡地事業費は約41億6千万円で11事業の総合計額は約389億円。

(提言) 給食費の無償化は現況と財源を含め行政と議会は総合的な判断が求められる。

健康増進センター指定管理者更新について

問 募集を「公募型プロポーザル方式」で採用した理由と前回(5年前)と今回の募集要項の主な相違点を求める

答 広く民間事業者の提案を求めることでサービスの質の更なる向上と、利用者(村民)に負担増をさせず、公費負担(管理委託費)の軽減を期待して採用した。

問 優先交渉権者と次点交渉権者の相違点は

答 優先交渉権者の提案は5年間で1億6百万円の管理委託費削減、利用料金は現行通り(次点者は値上げ予定)、開館日と開館時間は条例通り(現在より、開館日で50日、時間で数時間延びる)、また、赤字の場合は本社が補填する。

沖縄県後期高齢者医療広域連合事務所、村総合福祉センター、保健センターや子育て世代包括支援センターを含めた福祉ビル事業を提案





小糸製作所跡地

ひが ゆきお
比嘉 幸雄**沖縄西海岸道路の早期開通について**

問 読谷村の慢性的渋滞解消には、西海岸道路の全面開通が必要で嘉手納バイパスの早期着工を実現するには、何が必要と考えるか

答 国道事務所との情報共有、進捗状況を把握し各方面へ働きかける。

問 村内の渋滞解消の為の村道整備は済み、村内から村外に出る幹線道路の整備が待たれている。西海岸道路は宜野湾バイパスが着工され、ドンドン整備されていく。嘉手納バイパスの早期着工を実現するような施策はないか

答 嘉手納町とも協議し、情報交換していきたい。

県企業局の値上げについて

問 読谷村も水道料金を引き上げるのか

答 水道事業の経営においても、どの程度影響をうけるか確認し検討する。県企業局の値上げ分の値上がりになるのではないかと。

ゴミの分け方について

問 役場が収集しないゴミは、どう処分するか

答 個人で産業廃棄物処へ搬入する。業者へ処分を依頼する。

電線の無電柱化について

問 村内無電柱化の状況は説明を求める

答 土地区画整理事業地区を先行して、取り組んでいる。

問 景観上、座喜味城跡ややちむんの里の電線地中化は

答 「電線地中化推進計画」においては記載はあるが長期計画になっている。

喜名、小糸製作所跡地について

問 喜名、小糸製作所跡地でのトイレ水場建設の進捗は

答 業者へ見積をとり、区側の負担額の検討中。補助事業がないか模索中。



読谷まつり

ながはま むねのり
長濱 宗則**第49回読谷まつり**

問 平和コンサート、読谷まつり入場数と予算額

答 平和コンサート25,000人、読谷まつり1日目22,500人2日目31,100人合計78,610人、平和コンサート予算は9,070,577円、読谷まつり25,050,015円。

問 村民参加型読谷まつりに参加された団体数と参加人数

答 2日間の団体数と参加数は約70団体約2000名。

問 開催期間中のトイレの開放施設・設置数、また混雑は無かったか

答 仮設トイレ含め6ヶ所のトイレのうち女子トイレにて時間帯で行列があった。

問 高齢者や身体の不自由の方専用の乗降り場は確保されているか

答 出演者駐車場内に専用乗降り場を設けている。

問 建設されて30年経た進貢船の新造の考えはないか

答 検討しておりますが新造につきましては未定である。

問 令和6年読谷まつりは50周年の節目に当たりリニューアルの考えあるか

答 記念イベントの計画、今迄の読谷まつりを踏まえ、現状と課題を整理する必要があると認識している。

長田川流域の自然保護と活用

問 村として長田川流域の自然環境の保護と活用の考えは

答 大湾アガリヌウガン遺跡を中心とした整備活用事業の中で、自然について学びながら保全活用できる仕組みを考えたい。

村内公共施設に53ヶ所設置されているAED

問 改正版ハザードマップにAEDの設定箇所をマークで記載出来ないか

答 提案として受け止める。

2025年には認知症の人は700万人前後と予想

問 成年後見制度概要の説明を問う

答 認知症や知的障害、精神障害などの理由で判断能力が不十分となった人が、財産管理や契約で不利益を被ったり、人間としての尊厳が損なわれたりすることのないように、法律面で支援する制度で本人や親族の申立てによって家庭裁判所で選ばれた成年後見人が支援する。



政治は暮らし



よなはさき
與那覇沙姫

これからの読谷村について

問 2040年の人口将来展望数は45,495人、2060年の人口将来展望数は約44,500人。この推計に増減の変化は。人口増加を予測する要因と期待することは何か

答 全国各地の限界集落で人口が減少している。沖縄県も令和4年に人口減少期に入った。村は人口ビジョンに示している通り、2045年まで上昇することとなっており、そのままの推移で人口増を期待している。人口増加の要因として国の推計値に進行中の土地区画整理事業の計画人口を村独自推計として加味。労働力不足や国内需要の減少による経済規模の縮小、医療・介護費の増大など社会保障制度の給付と負担のバランスの崩壊が生じる恐れがある。また税収が減少することにより財政状況が悪化することから行政サービス縮小・税収が減少・廃止などを実施しなければならない場合も想定されるため人口維持・増加でこのような影響を最小限にすることが重要。

問 土地区画整理事業で人口増を目標とする世代は

答 大木地区1590人・大木南地区378人・大湾東地区2080人の整理事業。一戸建てであれば家族層、アパートなら単身世帯、これから一戸建てを考える世帯があると認識。

問 答弁から若者・子育て世代が目標世代となると読み解く。その世代に向けた政策を行う必要がある。子どもを産み育てたいと思わない限り人口増は厳しく人口減少する中、村民一人あたりの公共施設維持管理費がわかれば情報提供を求める。また母親・女性・子育て世代の声を聴くため意見交換会を村長が行う必要がある

答(村長) 5年に1回行っていて来年開催予定。
※こども誰でも通園制度・認定こども園・PFASについて質問した。



英字や日本語で書かれた消火器等を含む廃棄物がそのまま埋められている場所



しろま まゆみ
城間 真弓

こどもの権利条約を軸とした子育て支援政策を!

問 本村で行われている「自立支援プロジェクト」「生活スキルアップ事業」は、より困難な状況にある子ども達を優先して支援を行っているとのことだが、3ヶ月という短期間で具体的にどのような実績や効果があったのか

答 事業に参加した子どもからは「料理ができるようになり、家族に褒められた」など成功体験を重ね自己肯定感を高める一助となっている。

(提案) この事業が、子ども達の本当に求める心の声を反映して行われているのかを再度見直し、まず自立よりも、子どもが子どもらしく、安心して過ごすことのできる居場所づくりを!

問 不登校の子ども達に対し、一人ひとりの学ぶ権利、育つ権利の観点から、どのような対策を考えているのか。

答 本人・保護者と相談を行い、居場所づくりの手立てを構築し、個々に応じた学習環境を整え、学びを保障することが大切だと考えている。

(提案) 不登校に関して「学校ありき」という視点だけではなく、子ども自身が選択ができる環境や多種多様な方向から学ぶことのできるシステムづくりを早急に。

2014年米軍読谷補助飛行場跡地で発見された基準値をはるかに超えたダイオキシン類や鉛を含む廃棄物処理問題について

問 発見から9年以上の月日が経過したが、いまだに最終的な処理がされていない。進捗は

答 進展していない状況だが、国には粘り強く要請すると共に、補助事業等で対応できないか国・県と調整していく。

問 廃棄物の中には英字で書かれた消火器も埋められているとのことだが、これまでにPFASの検査はしているのか

答 検査はしていない。今後検討する。

マイナ保険証義務化撤回と、現行の健康保険証の存続を!本村でトラブル等の報告はないか

答 マイナ保険証によるトラブルの報告はない。





喜名南側地域の災害時一時避難所として提案する



きしもと だいじろう
岸本大二郎

「生徒指導提要」を12年ぶりに大幅に見直した改訂版を全国の自治体に通知した。改訂版のポイントを今現在各学校でどのように活用されているか

問 この12年間で子どもを取り巻く環境も大きく変化して教職員の仕事は増える一方懸念の声がある教育委員会としてどう受け止めているのか

答 組織で取り組む事が重要であり教員一人で抱え込まないよう取り組んでいる。

災害時地域の防災対策について

問 旧小糸製作所跡地の活用について喜名南地域に災害時の避難場所がない為台風・地震・津波・沿岸地域住民の後方支援活動の防災拠点として活用できる場所施設における公園整備を求める要請書が提出されている。要請理由に喜名南地域の避難所がない為地域からの意見聞き入れ行政からも共助の取り組みとして防災拠点を作る事を提案するが村長の考えは

答(村長) 喜名地域には住宅密集地があり、万が一の南地域の避難場所は必要だと思う。

小児救急電話相談事業(#8000)

沖縄県立中部病院小児科医が深夜不在の為、年末にかけて沖縄県からもクリニックの受診を呼びかけを行っているが本村としても小児科救急電話相談#8000の案内を窓口、ポスターなどでお知らせするなどを提案するが本村としての見解は

問 本村における相談件数は

答 相談件数は162件。

(提言) 令和5年7月13日に沖縄県市町村の若手議員のメンバーで沖縄県立中部病院小児科医を早急に確保する要請書を沖縄県に提出している小児救急電話相談#8000を村民に周知をお願いする。



世界遺産座喜味城跡での初日の出参拝!



やましろう せいき
山城 正輝

世界遺産座喜味城跡での「初日の出」参拝者に対する安全確保と、環境整備等⇒案内板・木道等は進める!

答 参拝者の自己責任であり柵等設置せず。

座喜味北地区地下に見つかったパイプ排水管を撤去すべき⇒調整の上対応!蔓延が憂慮されている外来植物「ツルヒヨドリ」の対策⇒土地所有者と協議!

答 駆除方法等を広報や村ホームページ等で注意喚起したい。

イオン座喜味南擁壁からの放水垂れ流しへの対応⇒工事状況の報告を受ける!

答 施設の担当者と調整を行った。

県ダムより貯水率が低い長浜ダムを浚渫すべきことと給水所の修繕⇒修繕は行うが浚渫は必要なし!

答 給水所付近の道路は、適宜補修を行う。波平犬桑原のスプリンクラー設置は、水圧が難しいことと、ほ場の奥行きが狭いため現状になっている。

長浜セレナ・カーサアパート(長浜1442-2北)沿いの雨水排水溝蓋の音がうるさく、早急な対応を⇒修繕検討!

答 「ガタガタ音」は、側溝上を走行するため発生。

残波岬公園の活性化等⇒グラジオラスの花畑作りは要望者と相談!

問 山羊の飼育小屋の復活については、村が引き取って希望者を募ってはどうか

答 管理者は再開の予定は無い。東屋のヒビ割れは協議中。潮騒の森は現状のまま。

サウスモーガン地域(古堅208番地辺り)の下水道接続を促進し、普及率を引き上げるべき⇒普及率向上のため鋭意取り組む!

答 地権者と家主との問題で、現在に至っている。



村道大木・比謝線と国道58号交差点
手前の2本の電柱



い さ し ん ぶ
伊佐 眞武

国保財政について

問 厚生労働省と内閣府に財政支援を求めた経緯と要請内容を伺う

答 沖縄県と県内市町村の国民健康保険事業の財政運営は厳しい状況にあり、前期高齢者が全国に比べて少ない等、本県の特殊事情に配慮した財政支援の継続・拡充等を4項目にまとめて要請した。

紅芋振興について

問 芋ゾウムシや基腐れ病の被害状況はどうなっているのか。また最近農研センターが基腐れ病に強い新品種を開発したが、村の対応は

答 芋ゾウムシ等は適切な栽培管理により被害を抑える事が出来る。基腐れ病については「ちゅら恋紅」が大きな被害を受けている。新品種は多収穫が見込まれ、基腐れ病への抵抗性にも優れ、食味も良い事から本村も苗の普及促進に取り組む考えである。

平和行政について

問 琉球新報の論壇にあった「美わしの琉球の歌碑、読谷村に建立を」との提案について村の見解を伺う

答 村民の皆様の建立への機運の高まりに期待と共に注視していく。

道路行政について

問 村内で初のラウンドアバウト（ロータリー）の工事が進んでいますが、この交差点構造にした経緯の説明を伺う

答 県警には信号機設置の要望が多数あり、予算も非常に限られ優先度が設定されている事から、信号抑制によらない方式を勘案した。

問 村道大木・比謝線と国道58号交差点手前の2本の電柱について、村民から交通に支障があるとの意見があるが村の対応はどうか

答 電柱移設は安全面で地主の同意が得られない状況がある。



12月より点灯した渡慶次小学校運動場



よ な は の り お
與那覇徳雄

幼小の連携等で特別支援などの配慮が必要な幼稚園児への支援体制は

答 各園に特別支援教育支援員を配置している。担任と特別支援ヘルパーで協力、園児の実態に応じた配慮や支援を行っている。

問 今年度、幼稚園教育支援員は全幼稚園に配置されているか

答 4月時点で欠員があった園についても10月に配置。全幼稚園配置されている。

問 幼小の連携から特別支援教育で巡回相談や関係機関との連携を密にして、幼児・保護者への適切な支援と対応が出来るよう巡回相談員を派遣されたと思うが、取り組んだ内容と成果は、巡回相談件数は

答 事前に対象幼児の情報を伝え、特性や関わりの助言を受け、実践に生かすことが出来ている。必要に応じ保護者への助言を実施。11月末で巡回相談件数は延べ67件。

各小学校に児童館が設置される利点をどのように認識しているか

答 児童館が各小学校区に設置される利点として、多くの児童生徒が利用できる。

(提言)令和4年度経済的理由で就学困難な児童の小学校準要保護対象者は全体の約17%、中学校は全体の約17.3%。子供たちの受け皿として早期の児童館設置が必要。

歴史、文化、風景等を楽しむフットパス手法を導入する考えはないか

答 「よみたんむら巡る」を活用頂きたい。

問 観光協会パンフレット「よみたんむら巡る」の掲載内容を新しくする必要があるが

答 年齢層に応じたコースやQRコード等で読み込みが出来ないか考えている。

小学校の運動場を照らす水銀灯の数は

答 5小学校で28基設置されている。

問 学童クラブに通っている児童の送迎の安全対策として照明を点ける必要があるが

答 学童クラブや学校と調整、対応したい。(提言)冬時間のクラブ活動時の児童の安全確保を図る必要から対応されるように。





津波による災害（能登半島の様子）

やまうち まさのり
山内 政徳

合併浄化槽設置について

問 村が補助した件数と金額は

答 9件で、307万円。

問 対象となる数、金額は

答 調査などは行っていないため把握していない。

問 すでに合併浄化槽が設置されている件数は

答 令和4年度末時点で2705件。

津波対策について

問 読谷村で海岸沿いの集落に避難ビルは必要ないか

答 避難ビルの指定は津波対策として有効だと考えている。

問 景観条例との関係で造れないのか

答 防災の観点から必要性があると認められる場合建設は可能。

遊具の安全確認について

問 他市町村で遊具から転落で賠償命令との報道があったが本村の安全確認は

答 定期的に委託業務で建設業者が3か月に一度、専門技術者による安全点検を年に一度実施。

高齢化社会（読谷村）

問 団塊世代の高齢化によって、今起こっている問題。これから起こる問題は何か

答 介護保険料の増額の検討と、これまでのような介護サービスが受けられなくなるのではないかと危惧している。

国民健康保険特別会計に対する本村の支援はどうなっているか

問 国保会計に一般会計から今までに繰入した金額は

答 過去10年間で法廷内繰入金は50億1千600万円、法定外繰入金は17億5千万円。

問 これからも村民負担軽減に頑張るべきと思うが

答 村民負担を減らす為には、健康を増進すること村民の健康の意識の向上に取り組んでく。



読谷村まちづくり構想(案)

えだ もりちか
江田 守恭

自主防災組織について

問 防災・減災に向けて取り組んでいることは

答 「減災」の考えに基づき、自主防災組織の結成及び育成、防災教育及び訓練の充実、防災マップの作成等。

問 自主防災組織は全ての自治会に必要なか

答 必要。防災活動に取り組む相互扶助や共助が大切になる。

問 自主防災組織の発足についての取り組みは

答 自主防災会の説明、防災講演会、出前講座、防災訓練及び地域福祉と連携する組織づくりの提案。

問 災害時の要援護者の対応は

答 災害時要援護者登録し、災害時に個別支援を自主防災会や近隣住民で行う。

問 自主防災組織発足の課題は

答 役員の担い手不足、運営する際の知識などが主なものと認識している。

（提言）各地域に合わせた防災マニュアルを作成し講座や説明会等、命を守る為の取り組みをさらに充実させなければならない。自治会が地域コミュニティの中心で防災、福祉、子育て等、多くを担っている。老人会や婦人会等各種団体の休会でもわかるように自治会の体力は衰えてきたが、加入率低下による役員等の担い手不足だけでなく資金不足が大きい。自治会が弱体化すると地域住民の繋りは、より希薄化し自主防災組織の発足どころか地域コミュニティは崩壊に向かう。自治会の支援やサポートが最優先である為、今以上の金銭的支援を。

読谷村多目的広場の人工芝計画について

問 計画の概要

答 令和7年度に実施設計、令和10年度工事完了予定。

（提言）村民運動広場も含めて砂埃がひどい。子供達のスポーツの大会や近隣住民の粉塵対策、読谷まつりでも会場で飲食をすることもふまえて、多目的広場だけでなく村民運動広場も人工芝や維持費のかからない天然芝にする等検討してほしい。村民の健康増進や子供達のスポーツを通じた健全育成、粉塵対策の為にも早めに行ってほしい。



ヤチムンの里景観重点地区



おおしろ ともぎ
大城 友誼

県が公表した市町村民経済計算から

問 県全体の総生産について

答 2020年の県内総生産は4兆2068億円で10年前より4997億円13.3%伸びている。建設業の需要が多かったと推測する。

問 読谷村の村内総生産について

答 村内の総生産額は628億4200万円で10年前より131億円多く26.4%伸びている。県内では15番目となっている。

問 村民所得について

答 読谷村の村民所得は827億3300万円で10年前より114億円16%伸びている。県内では13番目となっている。雇用者の増加や賃金の上昇が影響している。

(提言)一人当たりの村民所得が200万円と県平均の216万円に届かない県全体でも30番目とまだ低い状況にある。沖縄県21世紀ビジョン基本計画にもあるように沖縄には子の貧困問題等課題が山積している、それらを解決するには、所得の向上が必要であると謳われている。そのためにも域内産業の活性化を図り経済計算の指標から所得水準と経済成長率を明示し商工会と共に将来の産業施策を展開してもらいたい。

読谷飛行場問題について

問1) 実施計画の進捗状況について

不法耕作者について

聞き取り調査について

答 払下げについて意見の交換を3回実施。土地明渡の文書発送。資料について、歴史活用事業で進めている。

読谷村景観計画について

問 ヤチムンの里景観の意義について

答 文化的景観を保全するため景観地区として都市計画決定を行った。将来の世代に受け継ぐものと考えている。

問 県の施策では、景観10年風景100年風土1000年を実現するとあるが風景は100年と考えてよいか

答 21世紀ビジョンに示された通り。



ボランティアの皆さんへ認知症
サポーター養成講座開催(波平公民館)



うえち りえこ
上地利枝子

認知症の方々への支援

問 認知症と診断されているのは何名か

答 認知症高齢者の日常生活自立度調査では65歳以上で、1,694人となっている。

問 交流の場である認知症カフェの現状は

答 今年度10月より地域活動センターにて「よみたんオレンジカフェ」として毎月第4木曜日に開催しているが利用者はまだいない状況であり、今後啓発活動に取り組む。

問 見守り強化、行方不明者早期発見のためのSOSネットワークづくりの進捗状況は

答 SOSネットワーク事業所実地要綱を制定してまもないことから、登録事業所は現在ないが、今後、周知を行い多くの事業所へ協力してもらえよう努めていく。

問 サポータ養成講座の今後の展開

答 認知症について、小学校高学年から理解できるように分かりやすい講座を開催し中学生や地域のボランティアの皆さんへ普及啓発に努めていきます。

問 各地域危険箇所について、各字公民館との連携はどのように行なっているのか

答 各字の地域支え合い委員会で情報の共有を図っている。危険箇所の地図を早急に完成し、各字公民館と連携して取り組んでいく。

中学校部活動の地域移行の現状

問 地域移行について具体的な取り組みは

答 アンケート調査を実施、次年度は検討委員会の設置と先進地域の視察を検討している。

問 地域住民、保護者、指導者、学校現場の担当者との意見交換会の予定は

答 令和6年度に検討委員会を立ち上げ、議論の場を設定していきたい。

問 現在の財源と、地域移行後の財源は

答 次年度以降運営方法も含め検討する。

旧読谷中学校跡地の今後の計画は

問 道路、排水処理など環境整備を早急に

答 側溝の改修、道路環境の改善を実施





崖地の早急なる安全対策を!!

かみや かえい
神谷 嘉栄

大添・ミサワ会地域の土砂災害周辺崖地

問 台風6号後の崖地対策の進捗状況は

答 県中部土木事務所により、大添の一部で樹木を伐採し、崖地調査業務を行っている。

問 県の対策計画に、村はどう関わるのか

答 土砂崩れの原因究明調査と対策工事の実施、急傾斜地崩壊危険区域における対策施設の継続的な維持管理、樹木伐採等について大添自治会と連携し、県へ対応を求めている。

「読谷村無電柱化推進計画」関連

問 同計画策定が不可欠な国からの補助とは

答 計画に定められた路線が認定されたのちに、電線共同溝法による補助事業として導入が可能となり、地方自治体負担分の補助率が全国では50%であるのに対し、沖縄県は沖縄振興特別措置法により80%となる。

問 定められた計画で本村の整備する距離は

答 現在取り組んでいる路線を含め合計6路線、約5.8kmを整備する計画となる。

紅イモ振興に関する本村の取り組み

問 令和5年11月19日、地域振興センターにおいて「基腐病防除対策勉強会」が開催されたが、主催の農研機構九州沖縄農業研究センターの概要と本村との関わりは

答 同センターは、農作物栽培における基礎研究から応用研究、さらには開発した技術の普及まで一貫して行う国の研究機関で、本村との関わりは、作物の栽培技術の情報共有を図り、イモの試験圃場などを展開している。

問 配布された資料の中に、本村の取り組みが5項目あったが、それぞれの具体例は

答 増殖用苗の無償配布は、県の優良種苗供給体制強化事業の健康苗を増殖、原苗圃用として農家へ配布。買取価格の調整は、青果用イモを、ゆんた市場にて調整。勉強会・講演会の実施は、県と連携し病害虫防除や栽培方法の講習など。消費拡大の取り組みは、JAゆんた市場と連携し、販売強化。病害防除の支援は、基腐病の新規登録農薬一部を配布。



喜名観音堂 老朽化した遊具

なかも あさお
仲真 朝雄

GIGAスクール構想の下、児童生徒に1人1台端末が配布され、今年で3年目

問 その指導状況や子どもたちの情報活用能力は、どのように評価できるのか

答 各学校において活用、搭載アプリ等で、調べ学習を行い、自分の考えをまとめたり、他者の考え方を共有することができるなど、個別最適で協働的な学びに繋がっていると評価している。

問 GIGAスクール構想の大きな目的でもあるネットワーク環境の整備状況は

答 学校においては高速Wi-Fi整備済み。家庭においては原則として端末の持ち帰りを行なっておらず、貸出しルーターもまだ運用していない。

(要望) 端末持ち帰りがGIGAスクール構想のキモ。破損、紛失等は保護者とも連携して学校、家庭双方で学びの最適化を図るべき。

問 教育委員会のホームページで最新のGIGAスクール構想の情報はじめ、保護者への呼びかけなど発信してはどうか

答 授業での活用は進んでいる。今後は情報をホームページも活用し、特別支援の児童生徒も使用できるよう努めていきたい。

学校職員の働き方改革に、どのような影響が

答 働き方改革については、教材準備等の時間短縮、会議時間短縮、校務支援ソフトの効果的活用などの成果があった。一方では、研修の機会やスキルを高めるための時間確保が厳しいなどの課題がある。

喜名観音堂児童公園の美観維持、安全、防犯対策について

問 本堂前に昆虫を模した滑り台があるがコンクリート構造物ゆえに内部が見えない。県道側からの見通しがきかず、防犯上の懸念がある。防犯カメラ等の対策が必要では

答 これまでも観音堂公園トイレの設備破損等が発生している防犯カメラ設置工事を発注しており、年内には完了する見込み。



渋滞緩和工事が行われた
古堅小学校入口交差点



とう ま りょうじ
当間 良史

水道料金3割値上げ

問 県は水道料金を段階的に3割程度の値上げを検討しているが本村への影響は

答 県議会定例会に上程されている条例が可決された場合、県企業局から本村へ供給される水道料金は、1㎡当たり102円24銭から令和6年10月1日以降は125円24銭（23円増）令和8年4月以降は135円70銭（33円46銭増）となる。

問 1世帯当たりの負担額はどうか

答 家族3人世帯で月1,050円程度の値上げ（年間12,600円程度）になるものとする。

県道6号線の渋滞緩和策は

答 渋滞緩和については今年度、古堅小学校入口の交差点改良工事が完了した所であり、現在交差点改良後の検証を行なっている所である。

座喜味城趾東側の木道の整備は

問 木道が通行出来なくなった経緯は

答 10月に実施した日常点検において、階段の一部腐食しており踏み台が破損していたため。

問 経年劣化による破損が多々見られるが、今後の全体的な整備をどう考えているか

答 費用面も含め修繕計画を作成し、遊歩道への改善も含め関係機関と協議していく。

コロナ後の医療体制について

問 コロナ禍で疲弊した今こそ地域医療としてかかりつけ薬局を推奨すべきと考えるが

答 かかりつけ薬局の推奨のメリットとしては、薬の専門家である、かかりつけ薬剤師が身近にいる事で安全・安心に薬を使用できること、処方箋内容を確認し地域の医療機関との連携によるサポートが得られるなど、村民の健康を支える重要な役割を担うものとする。

問 スマホで管理する電子版お薬手帳「eお薬手帳」を推奨しては

答 電子版お薬手帳は複数あるので、それぞれの利便性を踏まえ、医療機関や薬局による普及促進が図られていくものとする。



歩行者の安全へ歩道設置を!



まつだ まさくに
松田 昌邦

村道高志保～宇座線整備について

問 北4区の渡慶次547番地付近は一部歩道設置されている。村民より延伸の声があるが

答 農業施設や用地買収を要する為、補助金等の活用を含めた検討が必要。

問 宇座885番地1の村道側法面の雑木・雑草対策は

答 草刈りや伐採等により管理しており、今後コンクリート被覆等の検討も行う。

青少年を取り巻く社会情勢について

問 青少年による大麻所持や窃盗、傷害事件等の報道があるが児童・生徒への薬物対策等の現状と使用が疑われる成人も含めた緊急搬送はあるか

答 毎年各学校において、薬物乱用教室を小3から中3まで実施している。また村内の救急搬送は22年と23年で28件ある。

問 令和4年から令和5年にかけて自転車が絡む交通事故件数は

答 令和4年7件、令和5年10月現在で3件。

問 自転車のヘルメット着用が努力義務だが児童生徒や保護者へ周知が必要と考えるが

答 着用の周知はホームページ等を活用していく。

問 幼少期から親子で交通ルールが学べる交通公園建設の検討が必要では

答 関係課と調整を行っていく。

嘉手納弾薬庫地区の日米共同使用合意について

問 2023年11月21日の合意により一部、読谷村内も含むとあるが、本共同使用について村への説明は

答 防衛局より説明を受けており、既存の米軍火薬庫を自衛隊と共同使用するため、改修に係る調査・設計を行う。

問 先般の日米共同訓練「レゾリュート・ドラゴン23」及び「自衛隊統合演習」における本共同使用合意区域及びトリイ基地の訓練使用はあったか、またトリイ基地に保管されているPCBは搬出処理されたか

答 低濃度PCBは本年度中に又高濃度PCBは既に搬出済み。

問 牧港補給地区の返還後、訓練で嘉手納弾薬庫やトリイ基地使用は本村における基地機能の強化では

答 村は一貫して基地機能の強化に反対の立場。



閉会中の審査・調査

総務常任委員会

① 読谷村の主な歳入の推移及び展望について

理由▶ 本村の財政状況について調査研究する



環境条例について先進地のうるま市で調査

② 請願第3号 読谷村環境条例制定についての請願

理由▶ 請願者から申請された本請願に対する各種調査を行う

③ 請願第4号 読谷村地下水保全条例制定についての請願

理由▶ 請願者から申請された本請願に対する各種調査を行う



文教厚生常任委員会

① 部活動の現状と課題についての調査

理由▶ 部活動の地域移行に向け各種調査を行うことにより、教育環境の向上を図る



② 陳情第3号 義務教育費国庫負担堅持及び2分の1復元について

理由▶ 継続審査中

建設経済常任委員会

道路危険箇所及び修繕を要する箇所等についての調査

理由▶ 村民の生活と利便性向上に直結する村道路整備において、信号機の無い交差点等の危険箇所及び修繕を要する箇所の状況を調査することにより、安心・安全な生活環境を整えるとともに村民福祉の向上のため調査を行う

第12回読谷村山芋スーブチャンピオン大会を振り返って

山芋インタビュー



座喜味山芋友の会の皆様と栄誉を称える安田実行委員会会長(右端)



赤山芋の部優勝 玉城剛氏

●山芋を作るきっかけ

山芋を植えるきっかけは、今から約34、5年前に、祖母から山芋(真っ赤な紅芋のような山芋)をもらい、「やーん、いーていでいー(あなたも植えてごらん)」と、自分のものにしてみなさいと言われ、そこから始めました。

慣れないながらも、出来た山芋は予想以上に大きく作れたので、それ以来毎年山芋を植え続けるようになり、座喜味公民館で行われる共進会にも出品し、山芋の植え方の資料も提供してきました。

●山芋づくりの楽しみは

山芋づくりの楽しみは、やはりなんといっても収穫時が醍醐味です。

長い育成期間を経て、ようやく掘り出す瞬間が一番の楽しみです。

掘り出した結果、最初に予想していた大きさにならず裏切られることもありますが、肥培管理や雑草の管理、肥料の与え方に工夫を凝らし、あの手この手で努力を重ねて育てています。

●大きく育てる秘訣はなんですか

大きな山芋を育てる秘訣は、肥培管理、雑草の管理、肥料の与え方にあります。肥料は独自で鶏糞と牛糞をブレンドしたものを使用していますが、毎年同じ配合ではなく、その時々々の環境や条件に応じて配合を変えるなどの工夫を行っており、それが良い成果に結びついているんだと思います。毎回創意工夫を凝らして、常に新しいアイデアを試しています。

●今後の山芋スーブに期待することはありますか

自身の記録を新たに更新したいです。そして、これからも家族での山芋づくりを楽しむことを目指しています。

また、若い世代に山芋の植え方マニュアルを提供したりすることで、山芋栽培の普及に貢献したいと考えています。

初めた頃、座喜味公民館で共進会に出品した時、たった二人しか居ませんでした。ですがそこからスタートし、今では山芋スーブがここまで大きなイベントになったことを、とても嬉しく思っています。

これからもいろんな世代が山芋スーブに参加して、その楽しみを感じ取ってもらい、今後も山芋スーブが盛り上がる姿を見ることを楽しみにしています。(島袋辰彦氏:談)

チャンピオン賞(一株の総重量)		
赤山芋の部	一位 座喜味 玉城 剛	157.7 kg
	二位 渡慶次 安田 慶造	148.4 kg
	三位 座喜味 島袋 辰彦	148.3 kg
白山芋の部	一位 座喜味 島袋 美由紀	182.6 kg
	二位 座喜味 島袋 和美	164.6 kg
	三位 楚 辺 松田 剛盛	107.7 kg
ジャンボ賞(一つの芋の重量)		
赤山芋の部	渡慶次 安田 慶造	20.6 kg
白山芋の部	潮名波 新垣 兵吾	32.2 kg
チュウカ一千賞		
赤山芋の部	座喜味 島袋 辰彦	
白山芋の部	座喜味 島袋 和美	
団体賞(各芋の上位5名の総重量)		
	一位 座喜味	779.1 kg
	(島袋 美由紀、島袋 和美、玉城 剛、島袋 辰彦、島袋 美由紀)	
	二位 潮名波	508.1 kg
	(柳田 巨谷 洋彦、和志 野郎、真妻、山内 真健、比嘉 昭徳)	
	三位 渡慶次	564.1 kg
	(安田 慶造、玉城 義和、大城 孝、安田 慶造、福地 敏)	



NHK取材を受ける島袋辰彦氏



▲Youtube
動画配信中!

りっかりっか読谷村議会

12月定例会での傍聴者は、延べ87名でした。

令和6年3月定例議会は2月27日(火)開会予定。

議会の日程についてホームページでお知らせしております

読谷村公式ホームページアドレス

<http://www.yomitan.jp>

〈お問い合わせ〉

議会事務局 TEL 098-982-9225